

丸リンピック2021 10月16日(土)

感染症拡大防止の観点から、運動会に代わる行事として「丸リンピック2021」を開催しました。3つのブロックに分けてペア学年ごとに活動を行うことにより、自分づくりに関する力を高めました。

実行委員がつくった丸リンピック2021のボードお披露目



1年 クローバー玉入れ

6年 丸小テリバー2021



1年生は、「おどるポンポコリン」の曲に合わせて、元気いっぱいクローバーパワーで玉入れをしました。6年生は、4人で大きな箱を落とさないように工夫しながら、猛スピードで運びました。

丸山台体操2021



2年 みんなかがやく玉入れ

4年 玉入れルー



2年生は、勇気100%のダンスと玉入れのどちらも楽しんで、キラキラ笑顔で頑張っていました。4年生は、みんなで協力して玉入れができるよう、目標ポイントを設定し、ルールを工夫しました。



3年 なかよくチャレンジ玉入れ



**6年応援係が小雨の中
丸リンピックを盛り上げました**



5年 みんなで一つになろう全力玉入れ



3年生は、みんなが協力できる玉入れのルールを考え、1回目よりも2回目の記録が伸びました。
5年生は、かごをめがけ、ものすごいスピードで、玉を全力で投げ入れていました。



子ども・学校を見つめて ～児童支援専任だより～

現在、給食時には、全員が一方向（教室前方）を向き、声を発さず食べる「黙食」の態勢がとられ、感染拡大防止の意識をもちながら、子どもたちは静かに食事をしています。

給食時、各教室の様子を見回ったときに、ある子どもが、箸でつかんだおかずをじっと見ている姿がありました。そして軽くうなずいて口に運んでいました。もしかしたら、自分が口に運ぶ「食」の姿を、しっかり見つめていたのではないのでしょうか。そのような視点で見ると、同様なことをしている子が他にもいることに気がきました。皿の中をじっと見てから、箸でいねいにつかんでいる子もいました。

通常（コロナ禍前）の給食は、少人数で机を合わせグループ対面式の場を作り、友達と顔を合わせて会話を楽しみながら食事をする「会食」形式でした。今は、最初に書いたとおり「黙食」形式です。だからこそ、逆に「食」に集中する時間が子どもたちの中に自然と生まれたのでしょうか。自分の体に入り、自らの栄養、そして体作りにつながる「食」をしっかりと見つめることは、大切な学びの瞬間だと感じました。

通常とは異なる学校生活が続きますが、今までは見えなかった子どもの新たな姿を、これからもていねいに見ていきたいと思えます。